

しまなみ海道で

地域と世界の

未来を学ぼう！



夏休みの予定は決まりましたか？

尾道市因島 フィールドワーク合宿 参加者募集!!

「国際協力」×「地方創生」

中国5県在住/中国5県出身者対象
JICA中国主催

応募はコチラ



開催日程

8.17 [月] ▶▶▶ 8.26 [水]

応募締切 | 7.20(月)

2次募集開始

フィールドワークを通じて、参加者全員で地域の①課題
②可能性 ③解決法を考えます。多様な講師から学びながら、
地域でのフィールドワークや現地交流などを行い
参加者や講師と共にそれぞれのプログラムを作り上げて
いきます。

POINT
1

広島県内移住者数No.1の尾道
で未来のヒントを探す

尾道市因島が舞台。移住者が集まる魅力と
過疎化というリアルな課題の両面に触れ、社会
を見る目を養います。

POINT
2

課題を“可能性”に変える
実践体験ができる

地域の課題と魅力を掛け合わせ新しい価値
を創造。「自分に何ができるか」を、実践的な
アクションで試すチャンスです。

POINT
3

同じ志を持つ仲間と
出会える

社会貢献に本気な仲間が集結。多様な価値
観に触れる協働作業が視野を広げ将来のキ
ャリアを具体的に考える大きな一歩になります。

ご応募について

滞在
場所

因島棕の里ゆうあいランド
(広島県尾道市因島棕浦町1069)

定員 10名

参加費

現地までの交通費及び食費等
(研修費、宿泊費、保険は無料)

対象

大学生・大学院生・短期大学生・高等専門学校4・5年生
(中国5県在住/中国5県出身。全プログラム参加可能な方)
※国籍は問いませんが、日本語でフィールドワーク実施に必要なコミュニ
ケーションができることを条件とします。

因島はどんなところ？



村上海賊の歴史と世界のサイクリストが集う「しま
なみ海道」で知られる因島。造船業や観光業で
活気にあふれ、県内トップクラスの移住者を惹きつ
ける魅力的な島です。その一方で過疎化というリ
アルな課題も抱えており、新しい価値を創造する
可能性に満ちています。



スケジュール

合宿開始までの流れ

7/20

応募締切

選考

7月下旬

合格者発表

合宿プログラム（予定）

	因 島
DAY 1	午後集合・オリエンテーション
DAY 2	チームビルディング・因島フィールドワーク合宿経験者からの話・因島島内視察
DAY 3	・課題解決について学ぶ（海外） （地域開発 / フィールドワーク手法など） ・課題解決について学ぶ（国内） （グローバル企業によるフィールドワークなど）
DAY 4	課題解決について学ぶ（海外）・マーケティングについて
DAY 5-7	グループディスカッション
DAY 8	発表準備・発表
DAY 9	振り返り・報告会準備
DAY 10	午前報告会後帰路へ

お願い

※SNS等で活動内容を発信するため、合宿中に写真や動画を撮影しますのでご協力をお願いします。※合宿中の活動報告(note)、終了後のレポート提出、フォローアップ報告会へのご協力をお願いします。※参加前後は健康管理の徹底をお願いします。

講師紹介



酒井 裕次 Yuji Sakai

特定非営利活動法人 PLUS 理事
広島県移住受け入れコンソーシアム
事業のプロジェクトリーダーを務める。



田才 諒哉 Ryouya Tasai

国際協力クリエイター。JICA や国連で
海外駐在、ニューズウィーク「世界に貢
献する日本人 30」選出。



河野 敬子 Keiko Kono

開発コンサルタントの人材育成 / 広報
活動 / 開発コンサルティング企業への
就職支援活動等を行っている。



松木 寛子 Hiroko Matuski

ODA コンサルタント。JICA 海外協力隊としてタン
ザニアに派遣。その後開発コンサルタントとして
パキスタンやパレスチナなどのプロジェクトに従事。



大下 凧歩 Nagiho Ohshita

上島町島おこし協力隊。昨年度から愛媛県
立弓削高校の公営塾スタッフとして勤め
高校生への学習支援・キャリア教育に携わる。



本プログラムは特定非営利法人プラスと team34* が共同で運営しています。国内外で課題解決を仕事にする講師陣から直接話を聞くことで、自分の将来やキャリアを描ける絶好の機会です。気付きや疑問不安などぜひ気軽に相談してみましょう！team34 は広島出身・在住で国際協力や課題解決を仕事にするメンバー。広島をこよなく愛しながら途上国支援や国内の地域課題にも取り組んでいます。



JICA中国 委託事業
お問い合わせ | 090-4765-3462 /sakai@plusinc.jp



過去の活動は
こちら